

# 産 業 建 設 委 員 会

令和 5 年 2 月 7 日 (火)  
全 員 協 議 会 終 了 後  
全 員 協 議 会 室

- 【委 員】川上委員長、田畑副委員長  
沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、牛尾委員  
【議長・委員外議員】  
【執行部】砂川副市長  
（産業経済部）佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長  
（都市建設部）戸津川都市建設部長、西谷建設企画課長  
【事務局】大下書記

---

## 議 題

- 1 執行部報告事項
  - (1) 三桜酒造跡地の活用について
  - (2) その他
- 2 行政視察を終えて
  - (1) 委員派遣報告書の作成について
  - (2) 行政視察レポートの作成について
- 3 その他

## 三桜酒造跡地の活用について

### 1. 経過（令和 4 年 8 月の全員協議会以降）

- R4 年 8 月 17 日 全員協議会で三桜酒造跡地活用に係る市の意向を説明  
8 月 浜田市土地開発公社へ不動産鑑定業務を依頼  
11 月 浜田市土地開発公社から不動産鑑定業務完了の報告  
12 月 地権者代表者との売買協議  
R5 年 1 月 31 日 地権者から、市が提示した不動産鑑定価格での売却を承諾する旨の通知あり

### 2. 不動産鑑定評価の結果

依頼先：本多不動産鑑定士事務所

鑑定額：242,000 千円（単価 55,700 円/㎡、184,132 円/坪）

### 3. 市としての考え

#### (1) 土地の取得

- ・令和 5 年度当初予算について、浜田市土地開発公社が先行取得する。
- ・活用方法については、検討委員会を立ち上げ検討するものとし、検討結果を踏まえ市が方針決定を行う。
- ・整備・事業化するには市が土地を買い取るため、令和 5 年度当初予算において、買取りのための債務負担行為を計上する。

#### (2) 活用検討

##### ①検討の目的

- ・三桜酒造跡地について、浜田駅周辺の賑わい創出と公共利用の観点から活用を検討する。

##### ②検討組織

- ・「（仮称）三桜酒造跡地活用検討委員会」を設置する。
- ・委員構成は、学識者、経済団体、地元商店街、地域協議会など 15 名程度を想定。

##### ③検討期間

- ・令和 5 年 5 月から検討委員会を 4 回開催し、令和 6 年 1 月までに活用方針案をまとめる。

##### ④予算対応

- ・令和 5 年度当初予算で、検討委員会開催経費及び活用方針策定業務（コンサルタント業務）委託費を計上。財源は「ふるさと応援基金」を予定。

### 4. スケジュール（想定）

- R5 年 4 月 活用方針策定業務の公募（プロポーザル）  
5 月 業務委託契約、検討委員会開催（以降 4 回程度）  
9～11 月 市議会へ検討状況の中間報告・意見聴取  
R6 年 1 月 活用方針の決定  
2 月 市議会へ活用方針を報告  
3 月 令和 6 年度当初予算で整備計画策定関係経費を上程  
R6 年度以降
  - ・整備計画策定業務委託、検討委員会の開催（継続）
  - ・整備事業予算（基本設計・実施設計業務委託費）を上程
  - ・浜田市土地開発公社から土地の取得